

徳島市立 2年ぶりV

徳島北に1-0

全国高校サッカー
徳島大会
最終日

立は全国選手権(12月30日開幕・東京駒沢陸上競技場ほか)に出場する。組み合わせ抽選会は11月19日に行われる。

【評】徳島市立が相手の隙を突く攻撃で先制点を奪い守り切った。後半16分、FW岡田が後方からのロングボールに反応し、相手守備陣との競り合いからのこぼれ球をFW岡田が逃さず左足で押し込んだ。GK中川やDF井上らが粘り強く攻撃を封じ得点を許さなかった。徳島北は序盤から相手のクリアボールを拾い

サッカーの第97回全国高校選手権徳島大会最終日は10日、徳島市球技場で決勝が行われ、徳島市立が1-0で徳島北に競り勝ち、2年ぶり17度目の優勝を飾った。徳島市立は、徳島北に1-0で勝利した。徳島市立は、徳島北に1-0で勝利した。徳島市立は、徳島北に1-0で勝利した。

根(前田)中村(後切陸)を奪い守り切った。後半16分、FW岡田が後方からのロングボールに反応し、相手守備陣との競り合いからのこぼれ球をFW岡田が逃さず左足で押し込んだ。GK中川やDF井上らが粘り強く攻撃を封じ得点を許さなかった。徳島北は序盤から相手のクリアボールを拾い

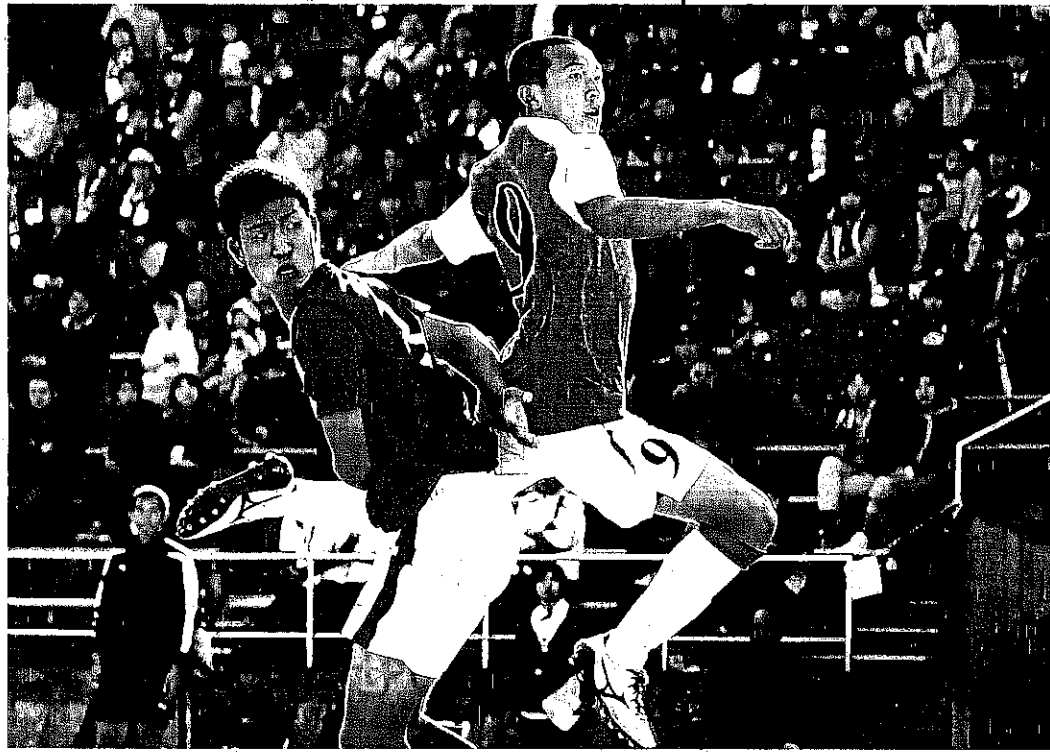
- 【徳島北】
村田川井田岡 川林木
辺米 辺岡 津水玉 12 0 15 6
喜徳野久 藤岡 津水玉 12 0 15 6
- GK DF MF FW
GK DF MF FW
川原上野 人松尾川 田島 12 4
中井佐 川原上野 岡
【市立】
△交代【市】野口(岡)披田
【関】大地(菅)田(佐野)
【徳】山岡(岡)早土(末)野
根(前田)中村(後切陸)

徳島市立が昨年の雪辱を果たした。後半16分、相手ゴール前に走り込んだFW岡田が利き足とは逆の左足で冷静に蹴り込んだ。0-1で敗れた前回と同じ展開がイレブンの脳裏をよぎる中、つないで生んだ決勝点。関主将は「チーム全員の気持ちが入められたゴールと表現した。決勝戦独特の雰囲気は動きは硬く、徳島北の気迫に押された。序盤は攻め込んでシュートやパスの精度を欠き、逆に相手に攻め込まれた。攻撃のリズムが出ない状況で守備陣が踏ん張った。準決勝で出番がなかったGK中川は冷静にシュートを抑え「攻めきれない嫌な状況を無失点で抑えたい」と。相手選手と接触してもボールを離さず守り切った。ゴールはDF佐野の前線への

全員の願い込め一撃

ロングボールから生まれた。FW岡田が相手DFやGKと競り合いの間についた。「昨年の決勝で外し、先輩たちを全国へ連れて行けなかった。絶対に決めたかった」と岡。前半15分に相手のファウルで9月に肉離れした右足を痛めたがピッチに立ち続け、こころ一番で勝負強さを発揮した。

俊足の岡、当たりに強い岡田ら身体能力が高い選手がそろそろ。シュートパス主体ながらロングボールを交えた攻めを加え、全国で勝つためのスタイル追求に余念がない。目標は県勢が長らく遠ざかっている8強以上。精神面を課題に挙げる関主将は「技術は全国でも負けない。徳島代表のプライドを持ち、力を出し切れるよう準備する」と表情を引き締めた。(城橋章裕)



決勝・徳島市立対徳島北 後半16分、決勝ゴールを決めた徳島市立の岡田(徳島市立球技場(山田旬撮影))